

月刊誌

7月号
6月18日発売

数理学

毎月20日発売
定価1049円

《D加群》の拡がり

—代数・解析・幾何をつなぐ現代数学の言葉—

巻頭言—桑垣樹/D加群入門—社本陽太/D加群とリーマン-ヒルベルト対応—竹内潔/D加群とホッジ理論—齋藤隆大/D加群と表現論—足田辰之/D加群と p 進微分方程式—宮谷和亮/D加群と幾何学的Langlands予想—越川皓永/D加群とシンプレクティック幾何, ミラー対称性—三田史彦/D加群と双有理幾何学における特異点—河上龍郎/コラム—社本陽太

8月号
7月17日発売

ブラックホールの探究

—物理学発展の鍵となる謎の天体に迫る—

巻頭言—白水徹也/ブラックホール小史—前田恵一/ブラックホールの数理解—石橋明浩/様々なブラックホールと形成シナリオ—関口雄一郎/ブラックホールの観測, 撮影—高橋芳太/ブラックホールとホログラフィー原理—西岡辰磨/ブラックホールと物性理論—岡村隆/ブラックホールと量子情報理論—高柳匡/ブラックホールと量子重力—宇賀神知紀/本当にブラックホールか—中尾憲一

●SGCライブラリ=208

非平衡超伝導の物理

現代的な視点から理解する場の凝縮現象

辻直人著

B5・216頁・定価2970円

ガイダンス

Rによる確率統計

石谷謙介著 定価2860円

確率統計の基本事項とモンテカルロ法の技術を並行して修得できるテキスト。本書では、R言語を用いて確率統計の諸問題をモンテカルロ法で再現し、理論解との比較を通じてモンテカルロシミュレーション特有の感覚を読者に身につけてもらうことに重点が置かれている。

●SGCライブラリ=207

素粒子多体系の物理

素粒子・原子核・物性の交差点から宇宙まで

山本直希著

B5・216頁・定価2970円

ガイダンス

Pythonによる確率統計

石谷謙介著 定価2860円

確率統計の基本事項とモンテカルロ法の技術を並行して修得できるテキスト。本書では、Pythonを用いて確率統計の諸問題をモンテカルロ法で再現し、理論解との比較を通じてモンテカルロシミュレーション特有の感覚を読者に身につけてもらうことに重点が置かれている。

数理工学社 近刊・新刊のご案内 発売：サイエンス社

寺子屋式

熱・統計力学講義

基本数式の読み方を伝授

北孝文著 定価2585円

本書は理工系学生を対象とした入門書。江戸時代の寺子屋での漢文学習を踏襲し熱力学三法則・エントロピーの表式を日本語として読むことで、直観的なイメージを持ち、熱・統計力学の本質を明瞭に理解できるよう配慮した。例題や演習問題を豊富に採録した好個の教科・参考書。

演習しよう 物理学

これでマスター！ 学期末・大学院入試問題

松永・羽部・鈴木・北共著 定価3740円

本書は理工系の学生を対象とした、物理の基礎4分野[力学]「電磁気学」「量子力学」「熱・統計力学」の演習書。各分野について必要最低限の問題をカバーし、物理の基礎力が涵養できるよう工夫されている。

寺子屋式

量子力学講義

基本数式の読み方を伝授

北孝文著 定価2640円

本書は理工系学生を対象とした入門書。江戸時代の寺子屋での漢文学習を踏襲しシュレーディンガー方程式を日本語として読むことで、直観的なイメージを持ち、量子力学の本質を明瞭に理解できるよう配慮した。例題や演習問題を豊富に採録した好個の教科・参考書。

複素関数論の講義ノート

松下泰雄著 定価2530円

本書は理工系の初学者を対象とした複素関数論の入門書。大学初年級の微積分の延長として、不連続関数の微分とデルタ関数についても解説した。分野間のつながりを意識し、俯瞰的な理解ができるよう配慮した。例題や演習問題を豊富に採録した好個の教科・参考書。

サイエンス社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-3-25
☎(03)5474-8500(代) FAX(03)5474-8900
*表示価格は全て税込です。

公式
HP



公式
X

